

天声人語（1）トマト相場の高騰

（朝日新聞）2015年1月7日 05時00分

一. 本文

日本では、明治のころには赤茄子（あかなす）と称^{しょう}したらしい。夏目漱石はある講演で、柿を見たことのない西洋人に柿を説明するよりも、赤茄子のようだと話す方がわかりやすいと述べていたそう。赤茄子とは、まだ目新しかったトマトである

▼南米が原産とされるトマトはいま、世界で最も広く食べられる野菜の一つだろう。4年前に本紙別刷^{べつ}りbeが読者約3200人に聞いたら、好きな野菜の1位に輝^{かがや}いた。トマトソースは料理でも大いに活躍する

▼大航海^{こうかい}時代にヨーロッパ人が持ち帰り、そののち移民と一緒に欧州から北米に渡ったという。20世紀後半になると、トマトケチャップ味のハンバーガーやホットドッグが、アメリカのシンボルとして世界に広がっていった

▼大手食品メーカーのカゴメが、ケチャップなどを4月から値上げすると、きのうの紙面にあった。新興^{しんきゅう}国を中心に食料の需要が増えて、輸入トマトペーストの相場^{そうば}が高騰しているのが主な理由という。ケチャップの値上げは25年ぶりになる

▼オムライス、チキンライス、ナポリタン。幼い頃に口のまわりを赤くした記憶は懐かしい。郷^{きょう}愁^{しゅう}とともに、世界のトマトは足りるのだろうか、一抹^{いちまつ}の心配が胸をよぎっていく



▼トマト味と縁の深いパスタも、大手メーカーが一昨日から値上げに踏み切った。小麦の仕入れ値が膨らんだためという。円安もあろう。されど、あれもこれもと外国の食料を頼みにする国に生きながら、地球人口大膨張^{ほうちやう}の時代に無関心ではいられない。

二. 単語

- | | | |
|---------|------------|--------------------|
| 1. 目新しい | 【めあたらしい】◎◎ | 新奇, 新穎, 不常見。耳目一新的。 |
| 2. 別刷り | 【べつずり】◎ | 另外印刷, 另印的小册子; 单行本。 |
| 3. 活躍 | 【かつやく】◎ | 活跃, 活动。 |

- | | | |
|--------|-----------|-----------------------|
| 4. 新興国 | 【しんこうこく】③ | 新興国家。 |
| 5. 高騰 | 【こうとう】◎ | 高涨。 |
| 6. よぎる | ② | 通过。闪过。 |
| 7. 膨らむ | 【ふくらむ】◎ | 鼓起, 凸起; 涨大, 膨胀; 规模变大。 |

三. ミニ文法コーナー

次の文の_____の言葉の意味に最も近いものをA～Cの中から選びなさい。

息子が無事退院できて、親として喜びにたえません。

- A 喜ぶのを我慢しなければならない
- B 喜んでばかりいられない
- C 非常にうれしく、幸せを感じている

正解は？

ヒント：

～にたえません

意味：～を我慢できない・～をととても強く感じる

四. 豆知識

東京曾読作とうけい？！

明治時代初期、東京が「トウキョウ」とも「トウケイ」とも呼ばれていたことをご存じだろうか？



7月17日は「東京の日」。1868年のこの日（旧暦）、明治天皇の詔勅により「江戸」が「東京」に改称されたのを記念する日だ。つまり、この時初めて、「東京」という地名が誕生したことになる。さらに時代を下り、明治時代も半ばを過ぎると、自然と「トウキョウ」読みが定着するようになる。また、明治4年、築地外国人居住地の地券には、TOKEI と記されて

いたが、明治16年にはTOKIO と表記が改められた、という話もある。

東京という言葉ひとつをとっても、複雑な歴史や先人たちの想いが刻まれている。